



平成23年8月3日

各位

会社名 東洋ドライループ 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 飯野光彦
 (JASDAQ・コード4976)
 問合せ先 常務取締役
 管理本部長 城戸幸一
 電話番号 03-3412-5711

通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年6月期(平成22年7月1日～平成23年6月30日)業績予想について、平成22年8月6日決算短信発表時に開示した業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

東日本大震災の影響により経営環境が不透明であったことから、業績予想の修正を控えさせて戴いていましたが、この度業績予想をあらたに算出し、下記のとおり修正をさせていただきます。

記

1. 平成23年6月期(平成22年7月1日～平成23年6月30日)通期業績予想の修正等

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
期初発表予想(A)	4,150	510	518	319	円 銭 240.93
今回修正予想(B)	3,963	380	361	194	146.73
増減額(B-A)	△187	△130	△157	△125	—
増減率(%)	△4.5	△25.5	△30.3	△39.2	—
(ご参考)前期実績 (平成22年6月期)	3,962	370	357	158	119.79

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
期初発表予想(A)	3,971	510	496	297	円 銭 224.31
今回修正予想(B)	3,827	386	433	266	201.24
増減額(B-A)	△144	△124	△63	△31	—
増減率(%)	△3.6	△24.3	△12.7	△10.4	—
(ご参考)前期実績 (平成22年6月期)	3,960	439	445	247	186.59

2. 修正理由

平成23年6月期の当社グループの経営成績につきましては、東日本大震災発生前までは、期初予想した推移を辿りました。

震災直後にあたる第4四半期連結会計期間（平成23年4月～6月）は、当社グループの設備等への直接被害はなかったものの、主要なお取引先である自動車機器メーカーでは、生産停止から速やかな復旧へ向けて尽力された期間にあたり、また地震等からの直接の被害を受けなかった製造業においても、電力節減や原材料・部品等の調達状況に応じて生産調整が実施される状況にありました。これにより、当社の受注生産活動は大幅な停滞を余儀なくされることになりました。

期初の予想売上高との対比では、売上高構成比が7割を占める自動車機器関連が通期で5.2%減、同1割を占める電気・電子部品関連が18.5%減となりました。その主たる要因は、第4四半期連結会計期間の低迷によるものです。また、売上高急減の一方で固定費の即時低減は難しく、利益を圧迫する結果となりました。

海外（中国）においても、当社グループの海外関連会社は、当連結会計年度後半からスマートフォンやデジタルカメラ関連部品向け等の受注量産を本格化しましたが、震災発生後については、自動車関連機器業界向けの停滞はもとより、これら部品向けも低迷を強いられました。

平成23年6月期の業績は、上記のとおり第4四半期連結会計期間の売上低迷により、期初の業績予想値を修正いたしますが、前期（平成22年6月期）実績との対比では、増収増益となる見込です。

平成23年6月期の通期決算短信は、平成23年8月8日に開示いたす予定です。

以 上

（注）上記業績予想は、現時点での連結決算集約数値に基づくものです。実際の業績は様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。